



ファーストラン!

FIRST RUN!

— おお なかま いま か みらい そうぞう
— 多くの仲間とともに現在を変え未来を創造するために —

NO.103
2017.9



「たつのおとしごと仲間たち」 なかま 近藤 光氏 こんどう ひかる し

とくしゅう
特集

かのじょ おし
「彼女に教えてもらったこと」

じへいしょう しょうがい
～ 自閉症という障害をとおして～



■ CONTENTS ■

3 「彼女に教えてもらったこと」 ～ 自閉症という障害をとおして～

14 介助者募集中です！

16 カエルのうた

17 編集後記

ファーストラン！ 電子版もあります

当法人公式 Web サイト内のページにアクセスしてください。フルカラー P D F 形式でご覧いただけます。ルビなし版も。

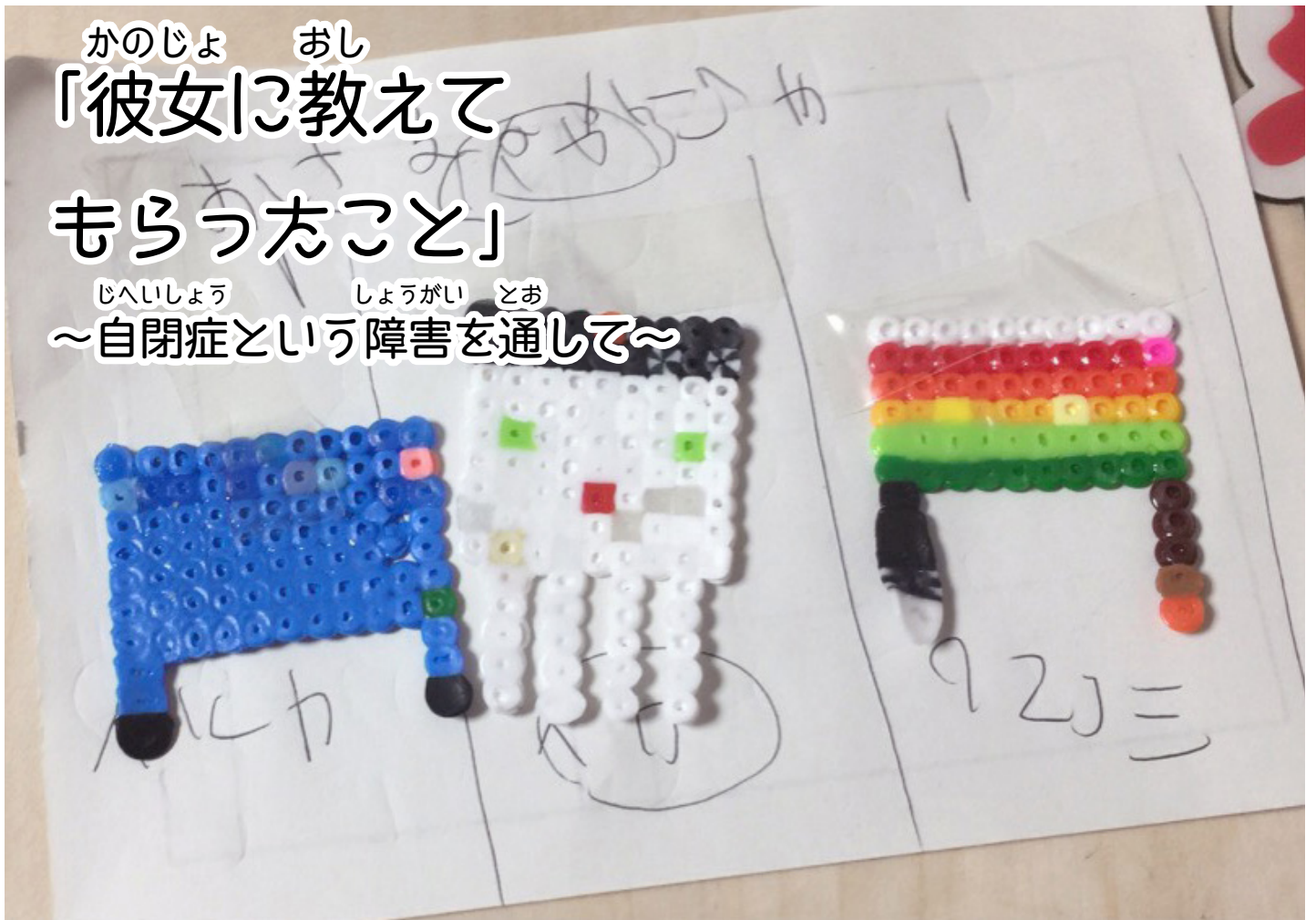
<http://www.suisinkyō.com/first-run>

「失敗して人の優しさを知る」

はじめまして。6月21日より当法人の職員となりました柊井裕紀と申します。20年ほど前の話ですが、北浜のステーキ店でウェイターをしていました。ある日、ランチタイムでも忙しく慌てて大失敗をしてしまいました。「Bステーキが足りない！」と大騒ぎになり確認すると私のミスでした。Aステーキを注文された12番テーブルのお客様に2番テーブルのお客様のBステーキを持って行っていました。厨房の人に謝って急ぎで焼いてもらいました。その時厨房のチーフは「12番テーブルのお客様、柊井くんの知り合いやねんやろ。」と笑って言ってくれました。失敗で不機嫌になっていた人も「知り合いやったらしゃーないか。」と言ってくれました。(この店では知り合いにはワンランク上の物を出しても良いルールがありました。勿論事前に厨房に報告しての事です。)「すみません、知り合いじゃないです！」と言うと、「いいから、知り合いやったら店長に言うとか。」と話してくれました。この出来事で自分の価値観が大きく変わりました。(柊井裕紀)

かのじょ おし 「彼女に教えて もらったこと」

じへいしょう しょうがい とお
～自閉症という障害を通して～



突然大きな声を出して走り出す人、独り言を言いながら身体を左右に揺らしている人、そういう人を街で見かけた事はありませんか？

もしかしたらその人は自閉症なのかもしれません。

いまだに『心の病気』『育て方に問題があったから』等、間違った認識で自閉症になったと思っている人がいます。

様々な議論が交わされていますが、自閉症の原因は特定されていません。

しかし、何らかの生まれつきの脳機能障害であると考えられており、親のしつけや愛情不足が直接の原因ではないことがわかっています。

偏見や誤解が多い中、一人の女の子の成長を通し自閉症というものについて少しでも知ってもらえればと今回ご家族の方に取材協力していただきました。

ご紹介させていただくのは大阪府在住・K子さん17歳です。

(ご家族の意向によりお名前はイニシャル表記)

私がヘルパーとしてお仕事させてもらうようになってから初めて出会った自閉症の女の子K子さん。

当時彼女は小学校低学年で学校が長期の休みになる夏休みや冬休みによく一緒に外出しましたが、最初は戸惑う事も多く正直どう対処していいかわからない時もありました。自動販売機で自分が飲もうと決めていたジュースが売り切れていたらひっくり返りそうな勢いで泣き出す、休憩に入ったミスタードーナツでちょっと油断すると隣の席のお姉さんのジュースを飲もうとしたり(@_@;)ビックリしているお姉さんにすぐ「すいませんっ!!」と謝りつつ、想定外の行動に笑ってしまったのを今でも覚えてます(笑)。

そんな彼女もご家族の愛情いっぱいに育ち、現在支援学校高等部。

あの頃は知らなかった出生時の話～現在に至るまで、お母さんに色々なお話を聞いてきました！

いんたびゅー
〈Interview〉

お久しぶりの K 子さん (#^^#)

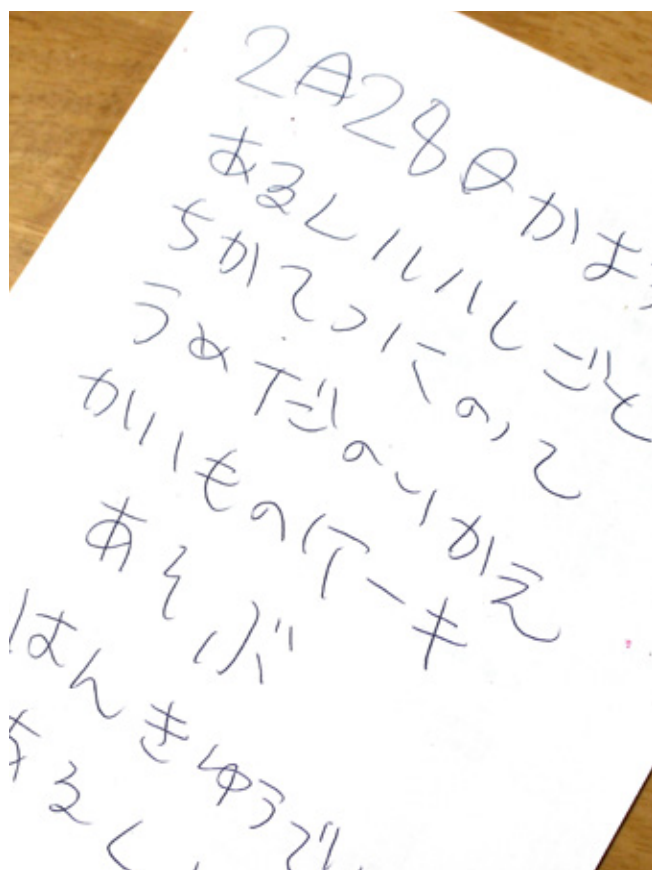
Q：私が K 子さんと初めて会ってから 10 年近く経ちますが、あの頃と比べると色んな面での理解度は少しずつ増えていってるものですか？

母：少しずつ増えていっているとは思いますが。ある程度言葉も理解しているというか覚えていているというか。ストップと言ったら止まるとかね。この頃バス停まで一人で行く時、私が後からゆっくり自転車であいていってるんやけど信号の無いとことかは車が止まってくれる事が多いんですね。その時小走りで道を横切る姿に可愛いとか思いますけど(笑)。一応止まってくれてるとか意識してるんやなあと思ったりね。信号はわかってるけど、この前押しボタンのところにずっと立ってた事がありました。赤信号の時に押しボタンを押すって知らんから、じいーっと立って信号が変わると思って待ってたみたいです。

いつもは通らへん道なんですけど、そこ通ったら小鳥が見えるからその日は小鳥が見たかったみたいです。小学生がいる時はボタンを押してくれるからね。でもやっぱり人に興味無いのは変われへんね。10 年経っても。今日もね、遠足だったんですけど、支援学校がしおりとこれをくれるんです。でも K 子にはこれでは伝わらないから私がこうやって作り直してます(タイムスケジュールを目で見えてわかるように絵や写真を縦一列に入れている)。K 子が一番知りたいのはお弁当の時間やしね(笑)。

Q：日曜のヘルパーさんとお出かけも同じような予定表を作るのですか？

母：反対にこの頃自分で書きますね。ヘルパーさんとお出かける時とか。これこの前のやつですけど、(タイムスケジュール) 自分で書いてます。〇〇駅まで歩いて阪急電車乗って〇〇駅で降りて、マクドから東淀川プールに行ったんです。で、遊んでおやつ食べて、帰りは阪急電車で〇〇駅経由で帰ってくるみたいな。阪急電車が好きなんですよ。



Q：阪急電車が好きというのはこだわりみたいなものですか？

母：そうですね。でもたまに雨が降るから御堂筋線にしようって言うたら折れますね。付き合えるところではある程度あの子の要求に付き合えるけど、付き合い合えへんところでは無理なら無理と言うてます。この頃は。

Q：K 子さんが毎回自分でスケジュールを考えるのですか？

母：そうですね。私と主人のスケジュールも作ってるんですけど。これ、K 子の誕生日の時のやつです。おかあさんは歩いて仕事行って、帰りは地下鉄乗って梅田で降りてケーキを買って阪急電車で帰ってこいみたいな(笑)。まあケーキさえあれば阪急乗ってようが分からないですけどね(笑)。だから要求とかもこうやって書いてきますね。

Q：小学校ぐらいの時はお母さんが予定を作ってたよね？

母：学校の遠足とか K 子が作れない予定は私が作って

↑誕生日ケーキを買ってきてもらうために渡したメモ

ましたけどね。これ前にK子が生活介護へ実習に行った時の予定（1日のタイムスケジュール）なんです。ちょっとアバウトやけど午前と午後仕事があるっていうことだけは伝えてくれているって感じですね。

Q：いきなり知らない所に行って決められた通りの予定でパニックにならないのですか？

母：うんそうですね、まあ時間まで仕事すんねんなって感じでやってみたいですよ。

Q：支援学校の実習で行かれたのですか？

母：就労に向けての実習ですね。知らない場所に行ってもこうやって写真にして見せると理解してるかどうかはわからんけどある程度は想像つくんでしょうね。それこそこんなんするようになったのも小さい時にね、私にしたら家を出て〇〇駅まで歩いて行くつもりがK子は自転車に乗って駅まで行けると思ってた事があって。そしたらすごいパニックになって大変やったからそのぐらいからわざわざ「歩く」ってつけるようになりました。私が歩いて行く日なのか自転車に乗る日なのか。まあその頃は写真見せてたんやと思うけどね。前もって歩くっていうのを伝えといたらパニックにならなかったの。

自閉症と診断されて・・・

Q：Kさんが自閉症と診断されたのはいつ頃だったんですか？

母：2才11ヶ月の頃でした。

Q：それまでに診断を受けようと思ったきっかけとか何かあったんですか？

母：話せば長いんですけど、K子が産まれてすぐお医者さんに「心臓に雑音が聞こえる」って診断されたんですね。で「お母さんだけ退院してくれる？」って言われて市民病院の心臓外来が週に1回何曜日って決まってるから、その日に退院してそのまま病院行ってって言われたんですよ。で、そこから始まったかな、今思えば。心臓の手術は1才4ヶ月に全身麻酔でやって心臓も一旦停止させてすごい大がかりな手術してるんですけど、それが終わるまで1回だけ寝返りうったぐらいであとは全然。もう周りの子は歩きだしてるのに、はいはいが全くなくいきなりつかまり立ちやったんですね。で、歩けへんって事で保健所に相談はしてたんです。でも心臓に負担あるからとりあえず終わるまで様子見た方がいいって言われて。で1才4ヶ月で手術しました。ほんなら手術終わって半月くらいしてから歩きだしたんですよ。でも歩きだしたけど多動なんですよ。普通の子の順番と違うから。ほんで心臓の先生にちょっとまあその前から発達おかしいっていうのは言うてたけど「まあ今は歩き出して興味出てきたんちゃうか」と言われたんですけどね。でもなんかそういう親子教室みたいな集まりに行きだして、普通はそっから幼稚園とかに行くんですけど通園施設みたいなを勧められたんですね。その頃はまだ知的障害の施設なんて知らなかったんですよ。だからとりあえず暇やし行こっかみたいな感じで行って。で、そこは親子で通園バスに乗って行くんですよ。だから親子ですごい仲良くなるんですよ1年間。その時に入ってすぐぐらにK子と同じ月齢のお母さんが「うちの子自閉症やと思うねん」って言って。その時私もまだ自閉って性格みたいなもんで思ってたから「自閉って何なん？」って聞いたたらその人が10個くらい並べたんですよ。じゃあ6個くらい当てはまるんですようちの子にね。で、あれ？と思ったから家庭訪問の時にその先生に言うたのかなあ。ほんなら先生に「でもまだ歩き出したばかりやしもうちょっと様子見た方がええんちゃう？」って言われて。でも心臓の先生に同時ぐらに「心臓と別に考えた方が良さそうなので児童外来を紹介します」って言われました。で受診したらスペクトラムかもしれないからと自閉専門病院に行く事になったんです。その頃その病院は予約が2年待ちとかだったんですけど本当に細かく調べてくれたんですね。でも1才7ヶ月で申し込んで順番回ってきたのが2才11ヶ月でした。自閉度も知的の度合いもわかったから、先生に自閉度も結構重いし知的もあれやねえ言われたんかなあ。だからある程度受け入れていってからの診断やったから2才11ヶ月の診断の時でもやっぱりねえみたいな。あとで担任の先生に「あの時違

うって言ったけど先生はいつ頃思っていました？」って聞いたら「家庭訪問の時はほんまに違うと思ってたけど夏あけぐらいにそうかなと思ってた」って言ってました。でも心臓の事が終わったら終わると思ってたから、今度はこれかみたいな。今度は治れへんしね、なんかその頃はまだパソコン買った頃でカチカチしてそんなに情報も無かったけど治りませんみたいな。ああ治らんねや、心臓は手術したら終わるけどみたいなね、そんな感じでした。

先輩お母さんからのアドバイス

Q：K子さんが自閉症と診断されてから周囲に信頼して相談できる人はいましたか？

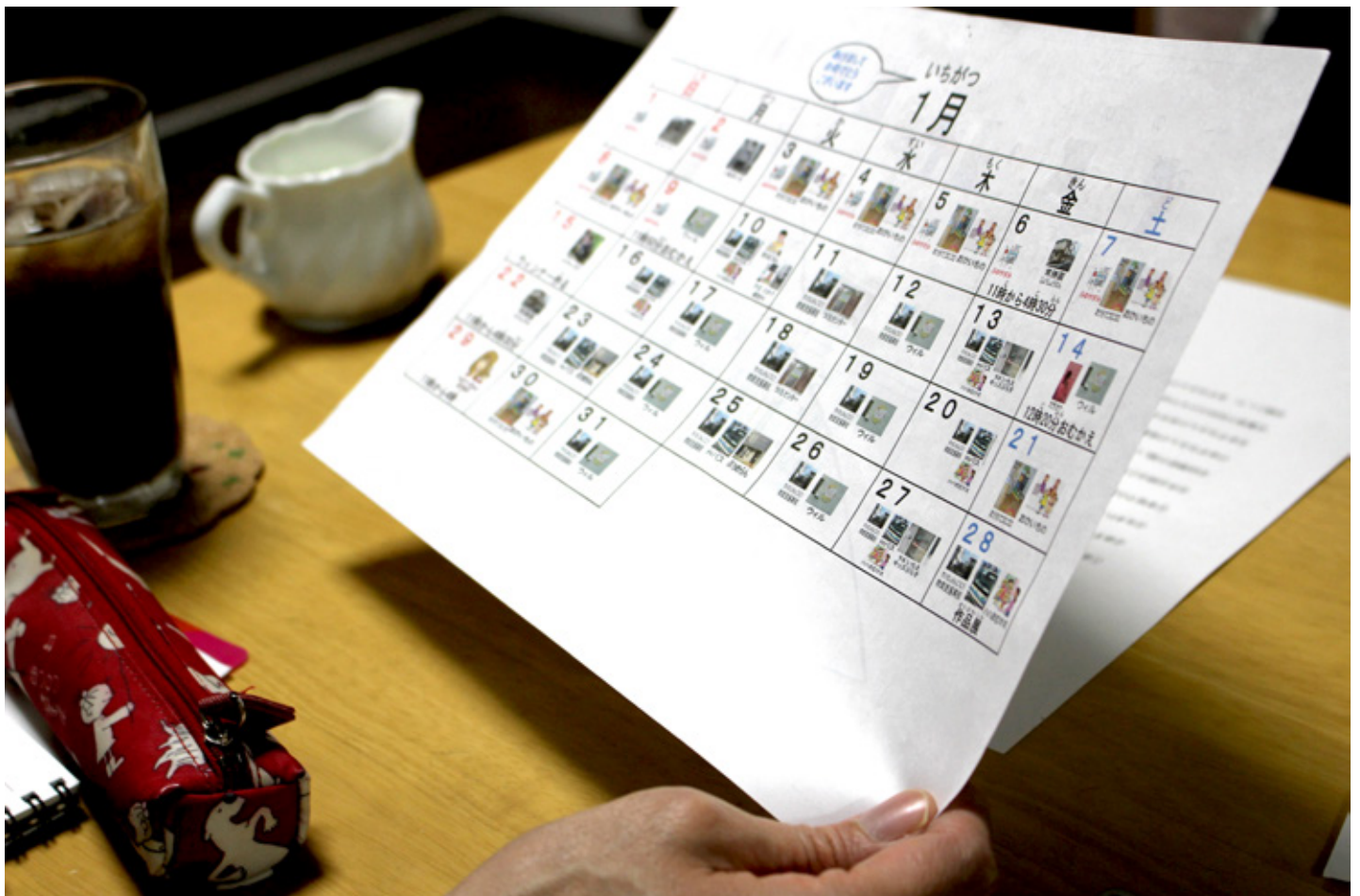
母：当時は通園施設の親同士ですよね、その後がひとつ上先輩と出会ったりして。あと親の会とかに入ってやっぱり先輩ですね。先輩のお母さんらに言われてこういうのを勉強しましたんです。

今思い返してもやっぱり専門医とかよりも先輩お母さんの存在は大きかった。

お弁当の事でも好き嫌いがあってミニトマトしか食べへんから一段ぜんぶミニトマト詰めて持って行ったっていう先輩お母さんとかいて(笑)。そういう話聞いたらそんなもんでいいんかって思ってた気がラクになった。好き嫌い多かったら偏食かなって心配ってたけどそれでも生きてるやんみたいな。本人が良かったらええんちゃうっていう感じで。それですごく気がラクになりました。「こうせなあかん」じゃないねんってね。

Q：きちんとお弁当を作らなあかんみたいに思ってしまうとそれはそれでストレスですもんね。栄養バランスを気にして食べたく無い物を口にするより本人が好きな物を喜んで食べてるんならそれが一番思うし。

母：ほんとにそう。一時期マクドナルドばかりっていう時があったんですけど、それまではジャンクフー



↑視覚で確認できるように写真を入れたお母さんの手作りカレンダー

ドは食べさせたくないと思ってたんですね。でも先輩のお母さんが「毎日食べてたらいつか飽きるやろうし満たしてあげたら交渉できるようになるよ」っていうのも言われました。お母さんが100回位言うこと聞いてくれたら1回ぐらい我慢したらろってなってくるんちゃう？って。あと通園施設もそうでしたね。「何でも選ばせてあげて」って。「今日履くズボンでも本人が選んだり出来へんから、2つ私が持って本人に選択させるっていう。そうする事で本人も自分が選んだっていう自尊心もついてくるんちゃう？」ってそういうふう聞いたかなあ。

Q：そういう時、1回選んだ服にこだわって次もまた同じ物を選ぶとかは無いですか？

母：もちろんあると思いますよ。でも、お菓子とかなら諦めになるって言われましたね。絶対最初の頃はこっち食べたらこっちちょうだいとか言うと思うねんけど、これは食べられへんでって。そりゃパニックになる子もいると思うけどこれはまた明日にしようねって。じゃあ、1個選んだら1個諦めなあかんねんって。そういう事も教えていかな自閉の子はコミュニケーションがわからない。例えば廊下を走ったらあかんっていうのも言葉でそのまま教えるんじゃなくて、一緒に歩いてこれが正しいねんでって教えなあかんって。それは高機能自閉症のお母さんも言うてはりました。

Q：こういう支援をしたらいいみたいな事を教えてくれるような専門医は探したけどいかなかったみたいな感じですか？

母：いえいえ。その頃の自閉専門病院は療育もしてたんですよ。そこで母親研修みたいななんがあって月に1回集まってきました。自閉の子の特徴や問題行動が氷山になってて、ここの水面下に絶対理由があるからとかそういう勉強をしましたね。就学までに。あと発達支援センターにも相談に行きましたね。保育園から帰ってきたらずっとマンションの下で遊んで家に入らないんですけど、どうしたらいいですかって。

Q：それはどう言われたんですか？

母：それは見通しが無いからやって言われましたね。次に何をするかとか好きな事をもってきたらいいと思うよって。その頃、洗濯機覗くのが大好きやったんですよ、あのくるくる回ってんのが。で、洗濯機のくるくる回ってる写真を見せたら家に入ったんですよ！でも、2回ぐらいで終わったかなあ。まあ、保育園やったしおやつ食べて帰ってくるから、おやつって訳にもいかへんし。その頃ね、朝ご飯・保育園・晩ご飯・お風呂っていう4つだけの写真をずっと壁に貼ってたんですよ。あの子が見てるか見てないかわからんけどとりあえず見せてたらある時ね、あの子がお風呂と晩ご飯を逆にしたんですよ。で、その順番通りにしたらこれは自分が言われてるスケジュールやっていうのがわかったんちゃうかな。半年ぐらい貼ってたこれが自分の生活やっていうのがわかったみたいです。保育園の頃ですね。

当時、家にいっぱい写真があって、夜の9時にその中のキッズプラザの写真を持って玄関に座りこんでた事がありました（笑）。これは今行きたいんやなってわかったけど、夜の9時ですよ。その時も先輩のお母さんに聞いたら「今は行かれへんけど、いつ行けるかを言うてあげたらええんちゃう？」って言われて。今度の日曜日とか。もちろんカレンダーなんかわからん時でしたけど。

Q：そのキッズプラザの時はどうやって納得したんですか？

母：パニックにはならなかったけど行かれへんねんなあみたいな感じやったかなあ。ただ座りこんでた行ってくれると思ったんかもしれせんね（笑）。

Q：その頃は、もうひらがなとか読めてた時期ですか？

母：読めてないですね。でも、なんかふりがなは付けといた方がいいって先輩のお母さんが教えてくれました。アイカメラじゃないけど形で覚えてるっていうんですかね。ある日思い出したときに一緒に文字も思い出すかもしれんからって言われて、ずっと文字と一緒に付けてました。幼稚園の先生もすごいやってくれて。病院の言語の先生は「文字は裏切れへんからね」言うてましたけどね（笑）。

だから、保育園の時にひらがな読みはしてました。「あ・ぶ・な・い」ってね意味はわかってないけど。で



けーこさん4という数字にこだわりがあった頃。何かと4つ並べていたそうです

も、それは自閉度がきつから読めるっていうのを言うてたかなあ、知的が軽いとかじゃなくって。

Q：自閉度が強いと読めるっていうのはどういう事ですか？

母：ほんまにアイカメラじゃないけど覚えてるんやと思います。「あ」は「あ」で覚えてるってイメージじゃないかなあ。でもこの時カタカナも読めてたんかな。でも、この幼稚園は別にK子だけにじゃなくてみんなにやってくれてたから。あとカレンダーの並びはなかなか理解出来なかったですね。こっちからこっち(一段目終わってから二段目)にいけないんですよ。で、縦一列のタイムスケジュールにしてたんです。今は読めるけどね。学校終わってから、今日は何処のデイに行くとか。今は部屋に貼ってるのは文字だけやけど。

学校でのK子さん

Q：産まれてから学校に行くまでのK子さんはどんなお子さんでしたか？

母：多動やったね。家の中でも外でも。お風呂の周りを歩いたり。だから平均台とか大好きでしたね。危ないとこばかり。怖いっていう認識が無いんやと思う。私らが気分が悪くなるジェットコースターとかブランコとか三半規管がたぶん強くて、それが気持ちいいんでしょうね。反対に、で、その刺激を求めるみたいな。

Q：飛行機の離陸の感覚が好きとかいう自閉の方もいますね。

母：あ〜好きやと思います。みんながみんなそうじゃないと思うけど。

Q：高いところが好きっていう事で大きい怪我とか今までないんですか？

母：ありますあります。1回落ちたんです。骨折してるんですよ。それからなんかあったら骨折骨折って言うんですけどね。痛い時は。

Q：そういう事があると危ない事はやらなくなるのですか？

母：いや〜そうでもないかなあ。

Q：バランス感覚があるって事ですか？

母：そうですね。バランス感覚があるっていうけど、それこそ危険認知が無いだけで運動神経がいいわけではないと思います。

Q：学校でのK子さんはどんな感じで過ごされてますか？

母：友達とか本人から行く事は全然無いですね。小学校2年か3年の時の先生が連絡帳を返す係にしてくれたから、クラスの友達の名前は覚えてましたけど。今でも時々その頃のクラスの子の名前を言ったりしてるかな。

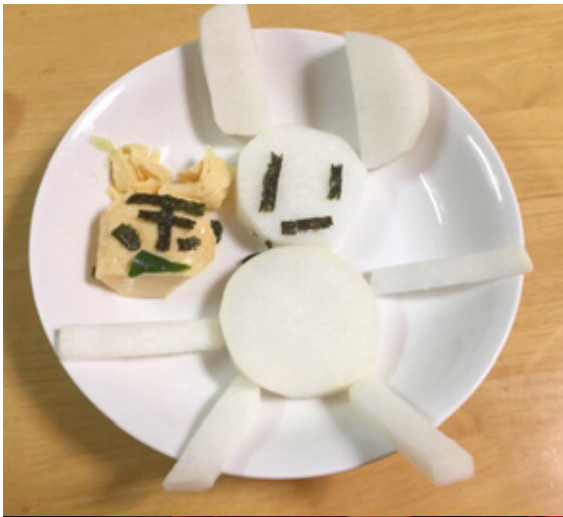
Q：先生の好き嫌いとかあるんですか？

母：うーんあるね。やっぱり、やいやい指示する先生は嫌いやね。嫌いとかは言わないけど。好きはあると思う。1回ひとりの先生が急に辞めた時はずっとその先生の名前言ってました。何が好きやったのかはわからないけど最後に一緒に行った遠足が楽しかったんかなあ。今は学校の生活が安心して過ごせる場所やから好きみたいです。やっぱり長期休みとかになるとデイ行ってるにしても今日はこのデイとか朝起きる時間もバラバラやしっていうのがあるけど学校生活はリズムがあるから。朝8時には家出て学校からデイ行っても17時半とかには帰ってきて18時にはご飯食べてっていうそのリズムがいいみたい。学校行っても授業中は落ち着いてるかわかりませんけどね。まあお昼になったらお昼ご飯出てくるしみたいな(笑)

Q：学校生活は予定が決まってて見通しが立ちますもんね。

母：そのリズムがわかりやすいんだと思います。

Q：入学のたび環境が変わる事になりますが、すぐ馴染めるものですか？



ちかれい
① だじいこんをつる
② ト2ト11ハつと35
③ 大きいたいこんみみらん
④ おみみ大こん11ハつと35
⑤ からだみみらんをる
⑥ あし1111だじいこんをる
⑦ びそあから1111
みみらんたじいこ

↑ K 子さんがお母さんに注文したレシピ (^^)

母：小学校1年の時は大変やったかな。なんせ教室に入らず池の所をうろうろしてたかなあ。中学校になってからはこんなに障害の重い子が行ったからやろうけど、この子メインにしてくれた。集会とかの時は時計が12時になるところまでやでって言うて、話はわかってないから時間になったら先生が出してくれたりね。

Q：中学校は地域の中学校ですか？

母：そうです。地域の中学校に行きました。

Q：支援学校ではなく地域の学校を選んだ理由はなぜですか？

母：主治医にも相談しました。中学校も来て下さいっていうのもあったんですけどね、割と重たい子やのに。支援学校行くつもりだったんですけど1回は地域の中学校に行かないといけないんですね。一度行って断らないといけないんです。で、行ったら教頭と支援の先生は来てくれたらいいみたいな感じで対応してくれました。

でも、中間テストとか受けなあかんからどうしようか思ってた、その子によって受けなくていいみたいになってくれて。

それで専門の先生に相談したら「集団生活は出来るの？」って聞かれました。

「出来ません」って答えたら「どっちでも良いと思うけど本人に個別に対応してくれる方を選んだ方がいい」って言われました。でも支援学校も行ったら結構個別ではないんですよね。通ってた小学校が支援と交流してたおかげで同級生の子が来たり、こっちの子が支援学校に行ったりとかする日があったから一度体育館に見に行った事がありました。

支援学校の一人の子は耳をふさいで体育館に入るのを「いやや」って言うて、でも一人の子はうずくまってずっとウロウロしてんねんけど何回も先生に戻されてたり。それ見た時にその主治医の先生の言葉を思い出してね。ここの小学校なら「支援級に行こう」って声掛けして支援級で勉強したりとかしてくれるかなって思って。で地域の中学校に聞いたらそういう対応もしますって言ってくれたからこっちにしようみたいな感じで決めました。

でもね、周りの子にどう映ってたかわからないですよ。うとうしいなとか。ああ、でもやっぱり1回あったなあ。この子の声が「うるさい」って支援級じゃない同級生の子に言われた事はありました。

Q：同級生で様子を見ていても理解できないのか理解しようとし

ないのか……。これを言ったら相手がどう思うのかを考えず言葉にしている怖さに気付いて欲しいですね。

きゅうじつ けー こ
休日の K 子さん

Q：では最近の K 子さんの休日の過ごし方を教えてくださいませんか？

母：自分で作った予定をこなしてるって感じかな。

Q：こなしてる感じなんですか？

母：う～ん。でも今日のこの遠足とかはこなしてる感じやと思います。楽しんでるって感じではないかなあ。まあお弁当食べてるとこは楽しみかもしれないけど。おやつとか（笑）。

今度の日曜日に行くんですけどキャンプのグループに入ってる。そこでは自炊とかするんでそれは楽しむように思うんやけどね。

Q：食べたりとか食事作りしたりとかは好きなのですか？

母：好きですね。

Q：食べ物で何が一番好きとかありますか？こだわりとか。

母：こだわるほどではないけど、炭水化物が好きですね。おにぎりとかフライドポテトとか。でも1週間に1回食べなアカンとかでは無いんですけど。外食が好きですね。

Q：音楽をよく聞いているみたいですけど音楽も好きですか？

母：好きですね。でも、この前先生に言われましたけど時間を決めた方がいいって言われました。でもほんまに音楽が好きなのか暇やから聞いているのかなあと思う事もあるし。

アイロンビーズがすごい好きな時があったんですけどブームは去りましたね。アイロンビーズしてたら大人しかったですよ。

Q：一人でずっと？

母：そうなんです。

Q：何か集中できる物があると落ち着くのもありますか？

母：そうみたいです。

Q：元々アイロンビーズを始めたきっかけは？

母：小学校5年の時の先生がどこかで自閉症の講座で「自閉の子は自由にするのがしんどい」って聞いてきて。ほんで余暇を増やしたらなアカンって言ってアイロンビーズするようになってハマったんです。

Q：どれくらいの期間ハマってたんですか？

母：小学校5年から中学校2年ぐらいまでだったと思います。

Q：K 子さんの強いこだわりは何かありますか？

母：ちっちゃいこだわりはいっぱいあるけど、そんなにめちゃくちゃこだわってる物はないですね。

Q：ちっちゃいものであればどういう？

母：ご飯食べ終わったぐらいから、父は何時に帰ってくるかしつこく聞いてきます。あと、この頃は毎朝バス停で晩ご飯は何かすごく聞かれます。で、私が答えへんかったら自分からリクエストしてきたり。シチュー作るとかね。応じられる事には応じるけどシチューなんか熱いやんって私が言ったら「シチュー見るだけ」って言うたりね（笑）。

Q：父が帰ってくる時間を聞いてからずっと起きて待ってるんですか？

母：それは無いですね。寝てます（笑）。でも、自分が起きて帰ってきた瞬間はうれしそうですけどね。1分ぐらいで終わりますけど（笑）。でも、そんなにお父さんと遊んで欲しいとかそういう訳でもなさそうで。

なんやろなあ、家族3人揃ったかなとか思ってるかな。

Q：K 子さんの苦手なものは何かありますか？

母：やっぱりうるさい音かな。自閉の人って全ての音が入るんですってね。だから秒針とかも聞こえる子

もいるみたいで。K子^{けーこ}はどこまでなんかわからないですけど。大型^{おおがた}のショッピングセンターとか苦手^{にがて}ですね。音が凄^{おと}い入^{すこ}るんやと思う。やっぱりそわそわしてるし苦手^{にがて}ですね。あと、大きい声^{おお}とか。だから私^{わたし}がいい加減^{かげん}にしなさいって怒^{おこ}ったら静^{しず}かになるけど言葉^{ことば}に対してじゃなくて大声^{おおこえ}に負^まけてるというか怯^{おび}えてるんやと思う。

ちいき 地域^くで暮らすことについて

Q：お母^{かあ}さんから見^みて重度^{じゅうど}の知的^{ちてき}の方^{かた}や自閉^{じへい}症^{しょう}の方^{かた}が地域^{ちいき}で暮らす事^{こと}は難^{むずか}しいと感じ^{かん}ますか？

母^{はは}：うーん、難^{むずか}しい部分^{ぶぶん}は難^{むずか}しいかなあ。たとえば私^{わたし}もそうやけど道歩^{みちある}いててこの子^こが急^{きゅう}に大^{おお}きい声^{こえ}出^だしたらドキッとするじゃないですか。親^{おや}でも思^{おも}うから他人^{たにん}がびっくりするのは当^あたり前^{まえ}やと思^{おも}うんですよね。そういう時^{とき}にそっと見守^{みまも}ってくれる人^{ひと}と嫌^{いや}な顔^{かお}する人^{ひと}もいるしね。電車^{でんしゃ}を乗^のり換^かえるのにエレベーター乗^のってる時^{とき}とかに「地下鉄^{ちかてつ}乗^のる」とか「J R 乗^のる」とかこの子^こにしたらスケジュールを言^いってるだけなんですけど、ベビーカーのお母^{かあ}さんとかはビク^いリするしね。そういう意味^いでは難^{むずか}しいかなあとは思^{おも}うけど、理解^{りかい}してって思^{おも}うというより……。それ^{しょうがい}は障^{しょう}害^{がい}やから許^{ゆる}されると言^いうよりどっちなんでしょうね。

障^{しょうがい}害^{がい}あるからしやあないな^{おも}って思^{おも}うのと障^{しょうがい}害^{がい}あ^{こと}ってもあかん事^{こと}はあかんのかな^{おも}って思^{おも}う部分^{ぶぶん}もあるしね。もし女^{おんな}の人^{ひと}を触^{さわ}るのが好^すきっていうこ^いだわりがあ^{ぜんぜん}ったとしても、全^{ぜん}然^{ぜん}知^しらな^{ひと}い人^{ひと}を触^{さわ}りに行^いったらやっばりそれは犯^{はんざい}罪^{ざい}みたい^いなもんやし。そこはやっばりあかん事^{こと}はあかん^くって繰^{かえ}り返^いして言^いわな^いあかんのかな^いあ^いって思^{おも}う。正^{ただ}しい代^{だい}替^{がい}えを提^{てい}示^じするとかね。

Q：例^{たと}えば実^じ家^かから出^でてグルー^{ひとりぐ}プホー^むムとか一^ほ人^き暮^でらしを^きして欲^ほしいとかあ^でりますか？出^で来^きたらいいなと

母^{はは}：ああ、それ^{わたしつめ}は私^{わたし}冷^{だいがく}たいかもしれんけど、みん^{とし}な^{どうじ}が大学^い出^でるぐ^いら^いいの歳^いと同時^いぐ^いら^いに家^いを出^でてくれ^いたらいいとは思^いいますね。22才^{おも}ぐ^{さい}ら^いいで。私^{わたし}も元^{げん}氣^きなう^でち^{しゅうまつ}に出^でてもら^{しゅうまつ}って週^{しゅうまつ}末^{まつ}帰^{かえ}ってく^いるとかね。私^{わたし}が週^{しゅうまつ}末^{まつ}行^いくとかでもいいし。そこ^おで落^おち着^ついた生^{せい}活^{かつ}を^みてみ^{おも}たいなと思^{おも}いますね。そうす^{じぶん}れば自^{あんしん}分^{しん}も安^い心^いし^いて離^{はな}れら^{おも}れるかなと思^{おも}って。そう^{はい}です^{かね}ね、グルー^{つづ}プホー^{つづ}ムとかに入^いって^おもら^おって金^{かね}がどう続^{つづ}くか^いです^いけど。

いく^いらぐ^いら^いい^いする^いん^いです^いか？

Q：う^{ばあい}ち^{しゅういつかりよう}のグルー^いプホー^いム^いの場合^いだ^いったら、週^{しゅういつかりよう}5日^{しゅうまつ}利用^{じつ}で1ヶ月^{かえ}5万^{ひと}円^お前後^おぐ^いら^いい^いです^いね。ち^{りよう}な^{りよう}み^{りよう}に利^{りよう}用^{りよう}の仕^{しかた}方^いで言^いえ^いば、週^{しゅういつかりよう}5日^{しゅうまつ}利用^{じつ}して週^{しゅうまつ}末^{まつ}実^{かえ}家^{ひと}に帰^おる人^おが^い多^いい^いです^い。で^いも、365日^{にちりよう}利^{ひと}用^{にゅう}の人^{にゅう}も^いい^いま^いす^いし、入^{きょしや}居^{やちん}者^{せい}さん^{かつ}によ^しってバ^{ねんきん}ラ^{にっしゅう}バ^{かつ}ラ^{どう}です^{ばしよ}。家^{きゅうりよう}賃^{かん}と生^い活^い費^いの支^い払^いいは、年^い金^いと日^い中^い活^い動^い場^い所^いで^いの^いお^い給^い料^いって^いう^い感^いじ^いに^いな^いり^いま^いす^いね。

母^{はは}：生^{せい}活^{かつ}保^ほ護^ごま^いで^いは^いい^いて^いな^いい？

Q：生^{せい}活^{かつ}保^ほ護^ごを^う受^{かた}けて^いる^い方^いも^いま^いす^い。や^{かてい}っ^いば^いり^いそ^いれ^いぞ^いれ^いの^い家^い庭^いの^い事^い情^いで^い親^い御^いさん^いが^い支^い援^い出^い来^いない^い方^いも^いい^いら^いっ^いし^いやる^いの^いで。ま^いあ^い贅^い沢^いは^い出^い来^いない^いで^いす^いけど、皆^{みな}さん^いぎ^いり^いぎ^いり^いな^いん^いと^いか^いや^いっ^いて^いる^いな^いっ^いて^い感^いじ^いです^い。

Q：ち^{だんな}な^{はは}みに^{おな}旦^{かん}那^がさん^{おも}も^い母^いと^い同^いじ^い考^いえ^いで^いす^いか？

母^{はは}：あ^しー^い知^{かん}ら^がない^{おも}。た^いぶ^いん^いま^いだ^いそ^いこ^いま^いで^い考^いえ^いて^いない^いと思^いう^い。

Q：今^{いま}ま^{けーこ}で^{かか}K子^{けーこ}さん^いに^い関^いわ^いっ^いて^いき^いた^い事^い業^い所^いで^いあ^いる^いと^いか^いヘル^いパー^いさん^いと^いか^いに^い対^いし^いて^い思^いう^いと^いこ^いろ^いっ^いて^い何^いか^いあ^いり^いま^いす^いか？

母^{はは}：う^{せんせい}ー^いん^い。先^し生^{せん}に^いは^いあ^いる^いね^い。支^し援^{えん}の^い先^{せん}生^{せい}は^いね^い、な^いん^いか^い面^{めん}倒^{どう}見^みた^いろ^いっ^いて^い感^{かん}じ^いで^い教^{おし}え^いよう^いっ^いて^い感^{かん}じ^いが^いない^いん^いです^いよ。そ^{きょういく}こ^いな^いん^いか^い教^お育^こち^いゃ^いう^いな^いっ^いて^い思^いう^い事^いあ^いる^いし^い。教^{きょういく}育^{ふく}と福^{ふく}祉^しっ^いて^い仲^{なか}良^よく^いな^いら^いない^いで^いす^いね^い。そ^いれ^いを^いこの^い12年^{ねんかん}間^{かん}で^いす^いご^いく^い思^{おも}い^いま^いした^い。

Q：そ^{いま}れ^いは^い今^いが^い一^い番^い思^いう^いっ^いて^い事^いで^いす^いか？支^し援^{えん}学^が校^{がっこう}に^い行^いっ^いた^いか^いら^い思^{おも}う^いっ^いて^い事^いで^いす^いか？

母^{はは}：い^いや^い、ず^いー^いっ^いと^いか^いも^いし^いれ^いん^いね^い。デ^いイ^いの^い人^{ひと}が^い中^{ちゅう}学^{がっこう}校^{がっこう}の^い時^{とき}も^い様^{よう}子^す聞^きき^いた^いい^いと^いか^い言^いう^いて^いも^い学^{がっこう}校^{がわ}側^{がわ}は^いイ^いや^いみ^いた^い

いな。そんな感じがします。学校は型にはめないとしょうがないかもしれませんが。事業所はバラバラやからね。デイでも色々な考え方のデイがあるし。でも放課後とかは特にどこに主体があるのかなって思いますよね。子供の為にあるのか親の為にあるのかっていうような。デイも色々あるからそこを選ぶのは親やからね。18時まで預かってくれるからとかお風呂に入れてくれるからいいっていう親も居てるやろうし。放課後デイね、もう一回検討し直さなアカンよね。どんどん開所してきてるけど人数集まらないって聞きますもんね、ってこれだけ学校の文句言っただけ支援学校卒業したら学校が良かったって言うてるかも知れませんよ（笑）。やっぱりね、補償されてるじゃないですか。なんか上手いこと言えないけど。でも時間的には短くなるしね。放課後も無くなるし。親の自由と時間は無くなるなあ。

Q：最後に親としてK子さんの将来で何か望む事はありますか？

母：う～ん。楽しく生きてくれたらいいと思いますね。漠然としてるけど（笑）。

Q：あ、でも同じ事をうちのグループホームの入居者さんの親御さんも言われてました。本人が楽しく生きてくれたらあとは何でもいいって。本人が辛そうにしてる事が親として一番悲しいかなって。

Q：子供を思う親の気持ちはみんな同じですもんね。今の母の言葉が全てというかホント愛情を感じます。今日は色々な話を聞かせていただき本当にありがとうございました！

～ インタビューを終えて ～

以前、他の当事者さんの外出支援中でエレベーターに乗った時、多動な様子を見ていた知らない人に「大変ですね」と言われた事があります。悪気はないのかもしれないけどその人の目と言い方に何となく引っこり「全然大丈夫です」とドヤ顔で言い返した私（；ー；）

街に出ると色々な面で理解の無さをひしひしと感じますが、障害のある人と関わった事が無い人にしてみれば全く未知の世界なので出会った時に戸惑うのは当然かもしれません。

でも大きい声をあげていたり一見驚くような行動は他の人からすると意味がないように見えても、ご本人にとってはそうせずにはいられない何らかの理由があると受け止めてもらえればなあと。

色々な障害の全てを理解する事は難しくても誤解や偏見を持たない目が当事者さんたちの生きやすさのひとつに繋がるのではないかと私は思います。

今回、K子さんの取材を通して自閉症と言ってもみんな同じではなく特性が違うからこそ、ひとりひとりに合った支援が本当に必要な事を改めて感じつつ、ヘルパーとして初めて自閉症という障害に関わらせてもらったあの頃の私は想定外の行動にビックリしたりあたふたしたり……K子さんにとっては不安だらけの珍道中だったと思うけれど彼女に出会えたからこそ色々な事を教えてもらいました。

障害福祉のヘルパーとして12年目、まだまだ修行中の私ですが、これからも当事者さんと同じ目線向き合いながらたくさんの人に出会っていければと思います（^ー^）

インタビュー：小山加代・菊池康治

文：小山加代

写真：K子さん母・菊池康治

※2013年以前に自閉症やアスペルガー症候群に分類された症状は、現在では自閉スペクトラム症/自閉症スペクトラム障害という診断名に分類されるようになりました。本文では「自閉症」として表記しています。



始めて
みたい方
大歓迎!!

Let's SUPPORT

まずは
見学から!



箕面市内の障害のある方のご自宅もしくはご自宅からの外出先でのお仕事です。

介助者募集中です!



私たちの職場の3つのメリット

1

月2回からでも、
学業中、
お仕事帰りでも、
大丈夫!

2

無資格や
未経験の方にも
しっかり
サポート

3

介助力向上の
ための研修体制で、
幅広い年代の方
が活躍中

NPO法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4-8-30

FAX: 072-723-6506 e-mail: JDW07270@nifty.com

☎072-723-3342

担当: 安東・丸橋

お問い合わせは
こちらへ!

阪急箕面線
箕面駅下車
徒歩15分





**専門的な知識も
必要ありません。**

障害に関する専門的な知識も必要ありません。お相手の方が何をしたいのか確認をとりながら、介助を行います。コミュニケーションの力も身につけることができます。



**誰もが皆さん
初心者からスタート**

介助料は**時給 1400 円～**

実習期間中は**時給 900 円～**

深夜 22 ～ 5 時迄の**時給 1750 円～**です。



福利厚生も充実

交通費補助、年次有給休暇などもあります。労働災害保険や損害賠償保険も加入していますから、何かの移動中の介助中の事故やお怪我の場合も保障いたします。安心して働けます。



研修会を開催

介助力向上のための研修会を開催しています。同じように介助を行っている皆さんで情報交換もしてスキルアップされています。研修会に参加いただくと手当てをお支払いしています。



介助に必要なこと

介助に携わっていただく際に必要なのは、介助のための**介護職員初任者研修**（旧ヘルパー 2 級養成研修）や**重度訪問介護従業者養成研修**など、修了されていることです。そこで、研修を受講していない方に、研修受講のための費用を助成をしています。詳しいことなどお気軽におたずねください。



介助のパート・バイトのお仕事例

※お互いの性別を配慮して同性の介助です。



**男性・女性 ★ 土曜・日曜・祝日
朝 7:30 ～ 夜 21:00 頃 約 6 時間
主に外出先での介助**



スポーツ教室に参加されるときは付き添い、映画鑑賞、買い物、外食などを一緒にします。



介助のパート・バイトのお仕事例

※お互いの性別を配慮して同性の介助です。



**女性 ★ 月曜～土曜 夜 20 時 30 分
(もしくは 22 時) ～ 10 時泊まり介助
男性 ★ 火曜～日曜 夕 18 時～翌朝 9 時**



※仮眠休憩あります。

ご自身で寝返りなどが難しいの方ですが、地域で暮らし続けていけるようにおひとり暮らしの方の身のまわりのお手伝いです。



介助のパート・バイトのお仕事例

※お互いの性別を配慮して同性の介助です。



**女性 ★ 水曜・金曜 夜 19 時～夜 22 時
約 2 時間半 お仕事帰りの介助**

**男性 ★ 日曜～土曜 朝 10 時～昼 12 時
一緒にクッキング**



夕食のあたためや簡単な調理、入浴、洗濯などのお手伝いや、簡単レシピに合わせて一緒に調理を行うお手伝いです。

実際に介助のパート、バイトをされている皆さんの声です。

**ダブルワークですが、
ちょうどよい働き方ができます。**
34 歳女性



仕事の合間にできる高時給のバイトがないか悩んでいました。最初は介助のバイトは大変そうだったのですが、意外にも週末の泊まり介助のシフトに入れるので、ライブや習い事への小遣いに充てられて、効率的です。

**週 1 日からでも働けるので
学校とも両立できています！**
22 歳男性



大学に通いながら、何が役立つことはないか探していました。家族から介助バイトはどうかと勧められて始めてみました。テストや旅行のときは休みももらえたり、大学院進級して続けています。

**未経験から始めましたが
楽しく働けています！**
28 歳女性



介助の仕事は未経験で、資格などもないので、5 日間くらいの障害のある方の介助の研修を受けてみました。全く自信がなかったのですが、簡単な仕事から少しずつ教えてもらったので、私でも覚えることが出来ました。訪問先の方から感謝されて、とても楽しく働いています。

**ブランクがあっても
高待遇で続けられます。**
44 歳女性



私の場合は出産や育児のため一度退職してしまったのですが、それでも介助パート歓迎のチラシを見つけて応募しました。待遇もよいので、高時給で働けて、子どもの学費や家計の足しになっています。ブランクはあまり気にする必要がなく、扶養控除の範囲内で働けて助かっています。

カエルのうた

その 17 ～嫌な気分



病院の帰りにタクシーを利用した時のこと。

私がタクシーに乗る時は、車イスから後部座席に乗り移り、車イスはトランクに入れる(今は車イスがひと回り大きくなったのでタクシーに乗れなくなってしまった)。その日に乗ったタクシーの運転手の態度がとても嫌だった。ドアを開けて出てきた時から、なんとなく嫌な雰囲気(いや ふんいき)が漂(ただよ)っていた。とりあえず乗り込んで待っていると、「なんでガイドヘルプがいてないねん」と呟(つぶや)いているのが聞こえた。無愛想(ぶあいそう)この上なく、本当に嫌な運転手(うんてんしゅ)だった。

私の場合(わたくし ばあい)障害者手帳(しょうがいしやてい)を見せるとタクシー料金が1割引(りようきん わりび)になるのだが、その割引分(わりびきぶん)は会社負担(かいしやふたん)ではなく、運転手負担(うんてんしゅふたん)になると聞いたので、使わないようにしていた。が、この時は躊躇(ちゅうちょ)なく手帳(ていじ)を提示(わりびきりようきん)して割引料金(しはら)で支払(い)った。あ～嫌な運転手(うんてんしゅ)だった。

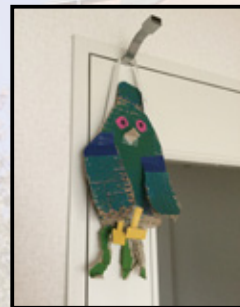
よく買い物(か もの)に行くスーパーにも嫌な店員(いや てんいん)がいた。箕面市(みのおし)の場合(ばあい)1年(ねん)に1度(ど)ハガキ(おく)が送られてきて、それを指定(してい)の所(ところ)へ持(も)って行くと、無料(むりよう)でゴミ袋(ぶくろ)と交換(こうかん)してくれる。そのスーパーも指定(してい)の交換所(こうかんじょ)だった。9時(く)少し前(まえ)に行(い)ってハガキ(み)を見せ交換(こうかん)して欲しい(ほ)いと告(つ)げた。するとその店員(てんいん)は実(じつ)に嫌(い)そうな顔(かお)をして、「9時(く)にならないと担当(たんとう)が来(き)ません」と言(い)う。その言(い)い方が実(じつ)につっけんどん(かたじつ)で、とても客(きやく)に対して(たいし)の言(い)い方(かた)とは思(おも)えなかった。まったく社員教育(しゃいんきょういく)ができていない(けいえいしや) (そのスーパーはそれからすぐに経営者(けいえいしや)が代(か)わった)。すぐ近く(ちか)にもスーパー(たかめ)がありやや高目(い)なのでたまにしか行(い)かないが、そこは高(たか)いだけあつて店員(てんいん)の客(きやく)に対する応対(おうたい)の仕(しか)た(ちが)がまるで違(じつ)う。実(じつ)に丁寧(ていねい)できちんとして(どうていど)いる。もし同程度(どうていど)の値段(ねだん)なら迷(まよ)うことなくそちら(か)で買(か)い物(もの)をす(おも)うと思う。

嫌(い)だったことはまだある。家の近く(いえ)でリハビリ(ちか)をしている時(とき)だった。杖(つえ)をついて歩(ある)く練習(れんしゅう)をしていると、近く(ちか)の店舗(てんぽ)から人(ひと)がで(で)てきて、笑顔(えがお)で私(わたし)に菓子折(かしお)りのようなもの(もの)を渡(わた)くれようとした。その人(ひと)は悪気(わるき)なく私(わたし)を応援(おうえん)するような気持(きも)ちで菓子折(かしお)りらしき物(もの)を渡(わた)そうとしたんだらうが、私(わたし)には何か(なに)とても嫌(い)な感じ(かんじ)に思(おも)えた。露骨(ろこつ)に嫌(い)な顔(かお)をする人(ひと)も嫌(い)だが、こういうタイプ(ひと)の人(ひと)もとても嫌(い)だ。何故(なぜ)嫌(い)なのかうまく説明(せつめい)は出来(で)ないが、心(こころ)がその行(こう)為(い)を強(つよ)く否(ひてい)定(とき)した。その時(とき)もうまくお断(ことわ)りの言(ことば)葉(は)がで(で)てこなかつたが、受(う)け取(と)る気(き)にはなれず、一(いっ)緒(しょ)にいたリハビリ(せんせい)の先生(も)に持(か)って帰(かえ)ってもら(もら)った。その日(ひ)は1日(いちじゅう)中(ちゅう)気分(きぶん)が悪(わる)く、ず(ず)っとムカ(むか)つて(いて)いた。

私(わたし)はちょっとひね(ひね)くれているのかな。

むとうよしかず
(武藤芳和)

・前号のお話になりますが、心齋橋のKAKIBAというギャラリー取材しました。本当に行ってよかったなと思える場所で、たくさん刺激をいただけてきました。この仕事をしてなかったら、なかったご縁だなあと。そこでやっていた段ボールワークショップには家族も参加させてもらい、その時作っていたものが家の守り神め的な、そうでもないような何かになっています。(びーどろ)



・前号より関わらせていただくことになりました。よろしくお願い致します。あっという間に梅雨が明け、暑い毎日ですね。躊躇なく洗濯ものが干せてうれしい限りです。(職員TF)

・えっ、もう8月！？月日が過ぎるのが早すぎて、気持ちも身体も追いついてない～！かといって時は立ち止まってくれませんか(泣) あ、でも後厄は早く過ぎて！(^^) (職員K)

・「最近、仕事しかしてへんねん…」と友達にぼやいたら「私、そんな枯れた人生イヤッ！！」と叫ばれた。そんな人生送ってるつもりはまったくないけど、“枯れた人生”ってひどくない？ (職員O)

・やまゆり園事件から1年が経過。事件の詳細は未だ不明確(裁判が始まる気配さえなし)。匿名措置で被害者の「生きた証」も伝わらず。生存中は地域社会から引き離され、亡くなったからも社会から隠れなくてはならない。「この国の形」を変えなくては。(職員F)

・先日少し遠出して温泉へ。初めての土地を見て歩き、美味しいものを食べてお風呂上がりには瓶のコーヒー牛乳でまったり(*^_^*) 仕事、家事、子育てと慌ただしく過ぎていく毎日を一週間に一回置いてこんな時間を過ごせたらいいなあと叶わぬ事を思いつつ、マイナスイオンをイッパイ充電した一日でした！と、もうひとつ私事のご報告・・・103号にてファーストランメンバーを脱退する事になったため、へんしゅうこうき こんかい さいご まいかいわたしにちじょう 日常ばかりで深いコトは書けず申し訳無かったのですが、お読みいただき有難うございました！他職員メンバーも今まで本当にありがとう！！(職員K・K)



とうほうじん おうえん ねが かいじんほしゅう 当法人の応援をお願いします！【会員募集】

とうほうじん みのおしやうがいしゃ せいかつ ろうどうしんきやうぎかい りやく すいしんきやう しょうがいしゃしめん けんり じりつせいかつ そくしん
当法人「箕面市障害者の生活と労働推進協議会」（略して推進協）は「障害者市民の権利および自立生活の促進」
を理念に掲げ、活動しています。当法人を応援してくださる会員を募集しています！
げんざい とうほうじん おも か き かつどう おこな
現在、当法人では主に下記の活動を行っています。



ヘルパー派遣事業

ちいき じりつせいかつ いとな しょうがい かたがた む はけん おこな
地域で自立生活を営む障害のある方々に向けたヘルパー派遣を行っています。
ます。「居宅介護」や「重度訪問介護」などの在宅支援、障害の特性にあ
わせた「同行援護」「移動支援」などのガイド支援を行っています。



グループホーム事業

しょうがいしゃしめん じりつせいかつ ひと しな い うんえい
障害者市民の自立生活の一つとしてグループホームを市内で運営し、
ちいきせいかつ しえん にゅうきよしゃ じしゆせい たいせつ ひと こせい
地域生活を支援しています。入居者の自主性を大切に、その人の個性
をよく見てできることは自分でしてもらい、できないことは少しずつで
きるように世話人が支援をしています。



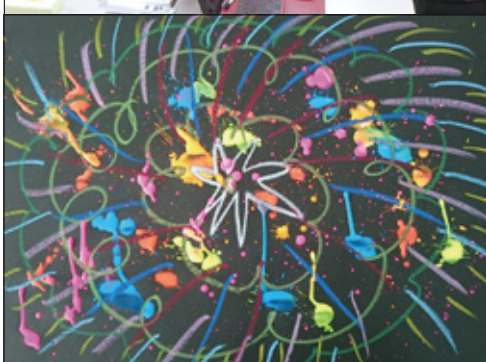
地域交流センター事業

ちいきこうりゅう じきやう
ほう か こ ちやうききゆうかちゆう かつどうほしやう しょうがい こ ちいきしゅうへん こ
放課後、長期休暇中の活動保障として障害がある子どもや地域周辺の子
どもたち、および市民が交流する場「さんかくひろば」を運営しています。
また、ほごしゃとう たい そうだん おこな
また、保護者等に対する相談も行っています。



相談支援事業

しょうがいしゃしめん じりつせいかつ えんじょ じやうほうていきやう もくてき
障害者市民の自立生活への援助・アドバイス・情報提供を目的として、
こま そうだんぎやうむ おこな おお しめん とも しょうらい
きめ細かい相談業務を行います。また、より多くの市民と共に将来の
施策のあり方について検討を行います。



その他の幅広い活動

とうほうじんどくじ じきやう いどうこんなんしゃ しえん おこな そうげい
当法人独自の事業として移動困難者の支援を行う送迎サービス、
とうこうほうし かんこう かんこう ようせい けんしゅう
当広報誌『ファーストラン！』の刊行、ヘルパー養成の研修やアートサー
クルの運営なども行っています。

今後^{こんご}も障害^{しょうがい}のある方々^{かたがた}にとって暮らしやすい社会^{しゃかい}づくりにむけた活動^{かつどう}を継続^{けいぞく}していきます。より一層^{いっそう}のご支援^{しえん}・ご協力^{きょうりょく}をいただきますようお願い^{ねが}しあげます。つきましては、一人^{ひとり}でも多く^{おほ}の皆さま^{みな}に、当法人^{とうほうじん}理念^{かっとう}および活動^{おうえん}方針^{かいいん}の賛同者^{さんどうしゃ}であり応援者^{おうえんしゃ}でもある「会員^{かいいん}」になっていただき、当法人^{とうほうじん}の活動^{かっとう}を応援^{おうえん}していただければと願^{ねが}っています。



にゅうかい ■ご入会について■

入会希望^{にゅうかいきぼう}の方はご一報^{かた}ください。入会申込書^{いっぼう}を送付^{にゅうかいもうしこみしょ}いたします。会員の種別^{そうふ}は下記^{かいいん}の3種類^{しゅべつ}となっています。

だんたいかいいん 団体会員	ねんかいひ 年会費	ひとくち : 1口	えん 10,000 円
こじんせいかいいん 個人正会員	ねんかいひ 年会費	ひとくち : 1口	えん 3,000 円
こじんさんじょかいいん 個人賛助会員	ねんかいひ 年会費	ひとくち : 1口	えん 1,000 円

※団体会員・個人正会員は年に1回開催される総会^{だんたいかいいん}に参加^{こじんせいかいいん}でき、議決権^{ねん}があります。個人賛助会員^{いっかいかいさい}に議決権^{そうかい}はありません。

また、団体会員と個人正会員の議決権^{ぎけつけん}は1つで、口数^{さんか}には比例^{ぎけつけん}しません。

(口数^{くちすう}が増えても議決権^ふは増え^{ぎけつけん}ません)。

当法人公式^{とうほうじんこうしき}サイトからもお申し込み^{もう}いただけます！下記^このページにアクセス^かしていただき、画面^{がめん}の案内^{あんない}にそって必要事項^{ひつようじこう}を入力^{にゅうりょく}のうえ、お申し込み^{もう}ください。

<http://www.suisinkyo.com/members>

とあさき ■お問い合わせ先■

072 - 723 - 3342 (会員担当^{かいいんたんとう}：木下^{きのした})

みなさん、推進協^{すいしんきょう}の応援団^{おうえんだん}、会員^{かいいん}になってください！お願い^{ねが}します！

とうほうじん 当法人について

とうほうじん みのおしな いさざま かつどう おこな
当法人は箕面市内で様々な活動を行っています。

ご依頼・ご相談は電話・FAX・Email・公式サイトよりお問い合わせのうえ、各事務所へお越しください。



へんしゅう 編集・発行／とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 箕面市障害者の生活と労働推進協議会

〒562-0001 大阪府箕面市箕面4丁目8番30号 電話：072-723-3342 FAX：072-723-6506

Email：JDW07270@nifty.com 郵便振替：00990-4-116066 公式ウェブサイト：http://www.suisinkyo.com